

令和4年度事業報告

令和4年度の日本経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進む一方、世界的なエネルギー価格の高騰による光熱費の値上げなど、不安定な状況であった。

このような中、財団の公益事業である「国際経済交流推進事業」は、中国現地のコロナ禍の現状を踏まえ、一部事業は中止したが、県や「山口県日中経済交流促進協会」等との連携のもと、オンラインによる海外ビジネス活動への支援や、貿易実務セミナーの開催など、引き続き国際経済交流の推進に取り組んだ。

また、国際貿易ビルにおけるテナント賃貸事業では、効率的かつ安全・安心な施設の管理運営と利用促進に努め、高い入居率を維持することができた。

なお、長年の懸案事項であった山口県貿易ビルについては、令和4年10月までに解体工事を終え、同年11月に底地を所有者である県に返還し、当該ビルの処分を完了した。

一方、指定管理事業については、「コロナ禍」と「燃料高騰」の影響を受けたが、大会場においてワクチン接種会場として長期的な利用や、燃料高騰に起因する光熱費増に対する県からの支援により、引き続き安定経営を確保することができた。

1 国際経済交流の推進

県、下関市、ジェトロ山口等の関係機関と連携し、中国を中心とした国際経済交流の推進に取り組むとともに、県内中小企業の海外ビジネス活動をサポートすることに努めた。

(1) 貿易相談・海外ビジネス支援

ア 貿易相談等

輸出入についての市場調査及び海外への販路開拓に関する相談に応じ、県内企業の具体的なビジネスを支援した。

<相談内容>

内 容	令和4年度	前年度
輸出に関する相談	29件	40件
輸入に関する相談	7件	0件
企業紹介	2件	2件
その他（翻訳・通訳、医療観光、技術供与など）	17件	17件
合 計	55件	59件

イ 輸出入展示商談会開催の支援

山口県等で構成する「貿易商談会等実行委員会」にメンバーとして参画し、「山東省・山口県経済貿易オンライン商談会」の開催を支援した。

- ・開催日：令和4年12月15日
- ・参加企業数：山口県11社／山東省34社
- ・商談件数：60件

ウ 中国等における中小企業の海外ビジネス展開への支援

県内企業の中国市場への売り込みにおいて、ビジネスパートナーの紹介、個別相談等の具体的な案件の支援を行った。

また、「日韓（青島）輸入商品博覧会」の出展支援のため、青島市を訪問し、主催者である青島市政府機関と協議した結果、5ブースの無料提供を受けることとなった。

その後、5社の参加申込を受け、展示商品のPR資料の作成支援や商品輸送まで行ったものの、現地のコロナ感染対策の強化により「博覧会」は延期された。

(2) 貿易等に携わる人材の育成・確保支援

県内の貿易関係業務に従事する者を対象として、貿易に関する基礎的な知識の習得や貿易実務の能力向上を図るため、レベル別の「貿易実務セミナー」を、新型コロナウイルス感染拡大予防対策を講じて開催した。

○ 貿易実務セミナーの開催

- ・基礎編（貿易実務の経験1年未満の者および未経験者）
日時：令和4年10月18日（火）／参加者：19名
- ・実践編 輸出（貿易実務の経験原則1年以上の者）
日時：令和4年11月22日（火）／参加者：13名
- ・実践編 輸入（貿易実務の経験原則1年以上の者）
日時：令和4年12月16日（金）／参加者：9名
- ・貿易実務書類（英語）の解説（貿易実務の経験原則1年以上の者）
日時：令和5年1月24日（火）／参加者：8名

(3) 貿易に関する情報収集・提供

県内企業等の貿易促進や海外取引機会の拡大を支援するため、情報の収集や提供に努めた。

ア 海外進出企業情報交換会の開催

山口県日中経済交流促進協会と共催により、山東省進出の山口県企業と中国政府関係機関との情報交換会を開催する予定であったが、昨年度と同様、コロナ禍により中止した。

イ 情報誌「メッセ海外通信」の発行及びHPを活用した情報提供

山口県日中経済交流促進協会、ジェトロ山口を含めた3団体共同による情報誌「メッセ海外通信」を年4回発行するとともに、財団ホームページに掲載し、ビジネスを中心とした海外情報の提供を行った。

ウ 貿易関係機関・団体との連携

県内中小企業への支援を充実するため、貿易関係機関団体情報交換会を開催するほか、「山口県海外ビジネス研究会」「やまぐち産業振興財団」等の貿易関係機関・団体との連携を図った。

2 産業交流の推進

国際経済交流の拠点機能を高めるため、国際化の進展と地域産業の振興に取り組んだ。

(1) 地域との連携

地元大学生に語学実習の場を提供し、国際的人材の育成を支援する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大のため、引き続き中止した。

(2) 海外ネットワーク等を活用した誘致・誘客の推進

ジェトロ山口とも連携し貿易振興企業への支援を実施した。

なお、蓄積した海外ネットワークを活用したタワーへの誘客については、コロナ禍によるインバウンド観光の低迷により行えなかった。

3 国際貿易ビル等の管理運営

国際経済交流の拠点施設としての機能充実を図りながら、貿易振興事業に資するための財源の確保や経費節減を行うなど、国際貿易ビル等の適切な管理運営に努めた。

(1) 国際貿易ビルの管理運営

テナント1件の退去はあったが、新たに3件の入居と2件のワクチン接種等に関する短期入居などがあり、引き続き高い入居率を維持した。

また、大規模改修として国際貿易ビルを含む「海峡メッセ下関」全体の設備改修等を実施した。

○ 大規模改修工事

- ・ 中央監視装置端末伝送装置(リモートユニット) 更新工事
- ・ 自動火災報知設備改修工事
- ・ 高層棟二酸化炭素消火設備制御装置修繕工事

<国際貿易ビルの入居状況>

(令和4年3月31日現在)

区 分	貸室数	入居室数	主 な テ ナ ント
5階～7階	28	25	ジェトロ山口、NHK、YAB、三井住友海上火災保険(株)、(株)クマヒラ、下関市立大学 他
2階～4階	8	8	ワイエム証券(株)、レストラン、シェアオフィス 他
そ の 他	6	6	インフォメーションセンター
計	42	39	入居率 93.4%
前 年 度	42	38	入居率 92.0%

(2) 山口県貿易ビルの処分

当初の基本方針どおり建物を解体し、底地を県に返還するため、令和4年10月までに解体工事を終え、同年11月末に土地を県に返還し、当該ビルの処分は完了した。

4 駐車場等の管理運営

国際貿易ビルの入居者用駐車場の適正な管理運営を行った。

5 国際総合センターの管理運営（指定管理事業）

コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進み、コンベンション施設の稼働率及びタワー入場者数は昨年度より増加した。特に、「展示見本市会場」はワクチン接種会場としての年間を通じた継続的な利用もあり急増した。

※「令和4年度主要コンベンション開催実績一覧」は最終ページのとおり

(1) コンベンション

ア コンベンション誘致の推進

日本コンベンションサービス(株)との「MICEアドバイザー契約」により、コンベンション誘致に関する施設の現状把握とコロナ後の誘致計画の策定を行った。

また、「MICE EXPO in Kansai」、「中国四国コンベンション誘致懇談会」や「第32回国際MICE EXPO」に下関観光コンベンション協会と合同で参加し、大型コンベンション誘致のための営業活動を行った。

イ コロナ禍を機としたオンライン化への対応

ウェブ会議やハイブリット会議に対応するため、貸会場専用のインターネット回線等の貸出を開始し、新規顧客の開拓やリピーターの継続的な利用に繋がった。

(令和4年度利用実績：157件)

＜令和4年度コンベンション施設の利用状況＞

(令和5年3月31日現在)

区分	見本市会場	イベントホール	海峡ホール	国際会議場	会議室
利用件数	49件	40件	48件	60件	964件
利用延べ日数	277日	108日	80日	83日	1,117日
稼働率	77.4%	30.2%	22.3%	23.2%	52.0%
前年度	47.1%	30.3%	17.1%	18.3%	44.9%
令和元年度	28.4%	27.0%	30.6%	28.4%	58.5%

ウ 「全国展示場連絡協議会」の会長引き受けと理事会等の開催

令和4年度、全国52施設（49社）で構成する「全国展示場連絡協議会」の会長を担うこととなり、理事会及び実務会議の開催を通じ、コロナ禍における各施設の対応等に関する情報収集を行うとともに、下関の魅力为全国の施設管理者に対し発信した。

(2) タワー

ア 運営方針と誘致活動

「原点回帰」を基本コンセプトとして、タワー本来の魅力である、景観の美しさや高さ、歴史的背景等を中心に運営を実施した。

また、コロナ禍の影響から中断していた関釜フェリーの旅客運送再開に併せ、韓国人観光客の動向について情報収集を行うとともに、今後予定されている海外からのクルーズ船の再開時期や規模等について情報収集を行った。

イ コロナ禍を踏まえた事業展開とイベントの実施

新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら、国のガイドラインに則した感染症対策の緩和を図りつつ、安全・安心なタワーの運営に努めるとともに、2年ぶりに「階段のぼり」を開催するなど、誘客イベントを実施した。

また、JR西日本が実施する大型キャンペーン事業「名探偵コナンミステリーツアー」に参画し、期間中約5,000人の入場者があった。

ウ 関係機関・団体等とのネットワーク強化

県や下関市はもとより「モアしものせき委員会」や「エキマチ下関推進協議会」等の各種関係団体との連携した取組を実施するとともに、3年ぶりに開催された全日本タワー協議会に参加し、感染拡大下での来場者の動向や会員施設が実施するイベントや広報活動等について会員間で情報交換等を行った。

また、地域連携事業の一環として、啓発活動を行っている様々な団体からの要望に応え、タワーのカラーライトアップを実施した。

＜やまぐちマンスリーフラワー＞ （主催：やまぐちの農林水産物需要拡大推進協議会）

期 間	展示内容
4/28～5/8	「バラ」「リンドウ」
6/18～6/25	「リンドウ」「トルコギキョウ」
8/6～8/12	「山口県オリジナルユリ」「バラ」
10/8～10/14	「山口県オリジナルユリ」「シクラメン」
12/24～12/28	「山口県オリジナルユリ」「バラ」

＜タワー カラーライトアップ＞

実 施 日	啓発活動	カラー
4/2	世界自閉症デー	ブルー
5/7～9	世界赤十字運動月間	レッド
6/5	環境の日	グリーン
6/20	世界難民の日	ブルー
8/1	水の日	ブルー
9/21	世界アルツハイマーデー	オレンジ
9/30	「展望の日」 前日ライトアップ	レッド
10/1～9	やまぐちピンクリボン月間	ピンク
10/10～16	臓器移植普及月間	グリーン
10/29	世界脳卒中の日	ブルー
11/1・3・10・17・24	児童虐待防止推進月間	オレンジ
11/14	世界糖尿病デーやまぐち	ブルー
11/19～20	女性に対する暴力をなくす運動	パープル
3/8	国際女性の日	イエロー
3/9	世界腎臓病デー	グリーン
3/12～14	世界緑内障週間	グリーン
3/26	てんかん啓発	パープル

エ 「ゆめたん」を活用したタワーPR

コロナ禍のため他団体等からの出演依頼や外部イベントへの参加はなかったが、館内で来館者とふれあう機会を設けた。

また、新たなオリジナル・グッズとして、子供に人気のある鉛筆とノートを商品化し、販売を行うことでタワーPRに努めた。

オ 館内レストランとの連携強化

レストランが営業自粛を余儀なくされたが、館内で実施される会議やイベントの情報共有を行い、連携を強化した。

<タワーの利用状況>

(令和5年3月31日現在)

区分	入場者数	(内、共通チケットの入場者数)		
		海響館	門司レトロタワー	観覧車
平成30年度	79,137人	1,797人	208人	464人
令和元年度	71,802人	1,571人	240人	492人
令和2年度	32,538人	667人	80人	207人
令和3年度	38,687人	1,114人	202人	380人
令和4年度	68,279人	1,582人	285人	630人
前年度比	176.5%	142.0%	141.1%	165.8%

※ 門司港レトロ地区の指定管理団体変更のため、門司港レトロタワー共通チケットは一旦販売終了

(3) 安全・安心な施設環境に留意した運営

ア 施設利用者への安全・安心な施設環境の提供

業種ごとに示された「感染拡大予防ガイドライン」に沿って、利用者の安全・安心な施設環境に留意した運営を行った。

イ 施設の維持管理

施設利用者に対し、安全・安心な施設環境を提供するため、万全な危機管理体制を構築し、効率的かつ適切な維持管理を実施するとともに、県と協議して「中央監視装置端末伝送装置改修」や「高層棟二酸化炭素消火設備制御装置修理」などの大規模修繕及び緊急修繕を実施した。

なお、令和4年4月に発生した「海峡ゆめタワー排煙窓の破損事故」については、建物の施工業者等と連携し、排煙窓の開閉装置の分解など、動作確認や調査及び検証を重ね、再発防止策を講ずるとともに、本復旧工事を実施した。

① 再発防止策

- ・排煙窓のボタンカバーの取付、警報盤の改修
- ・誤使用を防止する注意喚起の表示
- ・ゴンドラ稼働時、排煙窓の開閉状態を目視により確認する清掃監視員の配置
- ・高所作業事故を想定した「初動対応マニュアル」の整備、対応訓練の定期的な実施

② 本復旧工事

- ・排煙窓サッシ製作および取付工事（令和5年2月実施）

ウ 職員の資質向上

事務処理の効率化と職員の社会的知識を深めることを目的に、オンラインを含めた社外セミナーに参加することにより職員の資質向上を図った。

令和4年度 主要コンベンション開催実績一覧

開催日	催事名称	規模	備考
5/25	第59回 全飲連全国山口県大会	全国	現地
6/18～19	第7回 日本がんサポーターティブケア学会学術集会	全国	現地・Web
7/27～29	2022年並列/分散/協調処理に関する サマー・ワークショップ (SwoPP2022)	全国	現地・Web
9/25	Red Bull BC One Cypher Japan 2022	全国	現地・Web
10/15	故安倍晋三先生県民葬儀	全国	現地・ TV 放映
10/29～30	日本遺産フェスティバル in 関門	全国	現地
11/9～11	JFPS 2022年秋季フルードパワーシステム講演会	全国	現地
11/15	東アジア経済交流推進機構 第7回総会	国際	現地・Web
11/25	第5回 中国地区介護老人保健施設大会 in 山口	中四国地区	現地・Web
11/27	JSS 中国 第31回地方研修会	中四国地区	現地・Web
12/2～3	第33回日本リウマチ学会中国・四国支部学術集会	中四国地区	現地
3/9	令和4年度全国展示場連絡協議会 第7・第8ブロック実務担当者会議	中四国九州地区	現地

※ コロナ禍から「現地開催」又は「現地・Web」のハイブリッド形式が取られるようになった。